

第 学年 外国語活動 学習指導案

もしくは、「外国語科」と記入する。

日時： 年 月 日 () 第 校時
 場所： 小学校 年 組
 児童： 名
 指導者： 小学校 ○○○○

1. 単元名 (教材名)

(例) We Can! I Unit 5 「She can run fast. He can sing well.」 (第5学年)

2. 指導について

(1) 児童について (児童観)

*単元で指導する指導事項における児童の状況などを書く。

(2) 教材について (教材観)

*単元の内容、単元を取り上げる意義、今後の展開などを書く。

(3) 指導について (指導観)

*指導の力点、工夫、形態、その他の配慮事項などを書く。

3. 単元の目標及び評価規準

*この単元で取り扱う事柄や、言語の特徴やきまりに関する事項 (言語材料)、当該単元の中心となる言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況、取り扱う話題などに即して設定することになる。

(1) 目標

(例) 相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、できることやできないことなどについて、聞いたり自分の考えや気持ちを含めて話したりすることができる。また、文字には音があることに気付くとともに、アルファベットの大きい文字・小さい文字を活字体で書くことができる。

※なお、本単元における「聞くこと」及び「読むこと」、「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

(2) 評価規準

(例)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	○外国語科 <知識> ・【言語材料】について理解している。 <技能> ・【事柄・話題】について、【言語材料】などを用いて、【内容】を話す技能を身に付けている。	・【目的等】に応じて、【事柄・話題】についての自分の考えや気持ちなどを話している。	・【目的等】に応じて、【事柄・話題】についての自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。

話すこと「発表」	<p>*【言語材料】には、当該単元で扱う言語材料が入る。</p> <p>*【事柄・話題】には、当該単元で扱う題材における話題等が入る。</p> <p>*【内容】には、当該単元を中心となる言語活動において話す、【事柄・話題】についての自分の考えや気持ち、あるいは自分の趣味や得意なことなどを含めた自己紹介をするなど、話す内容が入る。</p>	<p>*【目的等】には、単元を中心となる言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況などを「〇〇のために」「〇〇するよう」等の形にして当てはめる。</p>	
	<p>○外国語活動</p> <p>・【言語材料】などを用いて、話すことに慣れ親しんでいる。</p>	<p>・【目的等】に応じて、【事柄・話題】についての自分の考えや気持ちなどを話している。</p>	<p>・【目的等】に応じて、【事柄・話題】についての自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。</p>

4. 「(焦点を当てる領域名)」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画(全時間)
(例)

時	目標◆、活動○【】	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	評価規準(評価方法)
1	◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。				
	<p>○Small Talk:先生のできること・できないこと</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.36</p> <p>・映像資料の映像なしに音声のみを聞いて、その人物が誰かを推測する。</p> <p>【Let's Play 1】 p.34, 35</p> <p>・指導者の話を聞いて、誌面のどの動物かを推測して答える。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプシオン: I can run. I can swim.) p.35</p> <p>【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77)</p>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>

6	<p>◆第三者についてできることやできないことを話すことができる。また、アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付くとともに、アルファベットの活字体を書くことができる。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション: He can run fast. She can sing well.) p.35</p> <p>【Let's Listen 3】 p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いてどの人物かを考え人物の写真の下に番号を記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○Who is he? Who is she?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【Activity 2】 p.37 で友達にインタビューしたことをもとに、クイズを出したり答えたりする。代表児童が出題して他の児童が答える。 ・グループで、順に児童が出すヒントを聞いてそれが学級の誰かを当てる。 </div> <p>【Activity 3】 p.39</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューする先生ができることやできないことを予想する。 ・誌面に He/She を書き写す。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例を参考に、自分のできることやできないことを書く。 <p>○Sounds and Letters (ワードサーチ)</p>	発				<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>【「話すこと [発表]」の記録に残す評価】</p> <p>◎ 友達について、He/She can ~ . He/She can't ~ . などの表現を用いて、できることやできないことを話している。〈行動観察〉</p> <p>・児童が友達のことについてクイズを出し合っている様子を観察し、評価の記録を残す。</p> </div>


5. 本時の指導 時/全 時間

(1) 本時の目標

- ◆第三者についてできることやできないことを話すことができる。また、アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付くとともに、アルファベットの活字体を書くことができる。

(2) 本時の展開

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法> ●指導改善例	準備物
20分	<p>*児童の立場で書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達にインタビューしたことをもとに、クイズを出したり答えたりする。 	<p>*指導者の立場で書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が友達のことについてクイズを出し合っている様子を観察し、評価の記録を残す。 	

		<p>◎行動観察 [知識・技能] 友達について、He/She can～. He/She can't ～. などの表現を用いて、できることやできないことを話している。</p> <p>●活動の途中で中間評価をして、発表のモデルとなる具体例を示し、児童が自分の後半の活動のめあてを確認した上で、後半の活動を開始するとよい。</p>	
			

(3) 教材、ワークシート、板書計画、座席表 等

※参考になる資料等

◎『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 外国語・外国語活動（令和2年3月）』

国立教育政策研究所 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_gaikokg.pdf

